

みずほCustomer Desk Report 2019/04/10号(As of 2019/04/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	111.40
TKY 9:00AM	111.45	1.1256	125.45	1.3064	0.7121		
SYD-NY High	111.57	1.1284	125.60	1.3122	0.7152		
SYD-NY Low	110.98	1.1255	125.14	1.3032	0.7120		
NY 5:00 PM	111.16	1.1262	125.20	1.3050	0.7123		
NY DOW	26,150.58	▲ 190.44	日本2年債	-0.1600	0.00bp		
NASDAQ	7,909.28	▲ 44.61	日本10年債	-0.0500	0.00bp		
S&P	2,878.20	▲ 17.57	米国2年債	2.3477	▲ 1.11bp		
日経平均	21,802.59	40.94	米国5年債	2.3064	▲ 1.84bp		
TOPIX	1,618.76	▲ 1.38	米国10年債	2.5015	▲ 1.80bp		
シカゴ日経先物	21,635	▲ 180	独10年債	-0.0120	▲ 1.75bp		
ロンドンFT	7,425.57	▲ 26.32	英10年債	1.1020	▲ 1.10bp		
DAX	11,850.57	▲ 112.83	豪10年債	1.8940	3.00bp		
ハンセン指数	30,157.49	80.34	USDJPY 1M Vol	5.10	0.09%		
上海総合	3,239.66	▲ 5.15	USDJPY 3M Vol	5.63	0.06%		
NY金	1,308.30	6.40	USDJPY 6M Vol	6.22	0.04%		
WTI	63.98	▲ 0.42	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over		
CRB指数	188.56	▲ 0.14	EURJPY 3M Vol	6.50	▲ 0.07%		
ドルインデックス	97.02	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	7.16	0.00%		

東京	東京時間のドル円は111.45レベルでオープン。日経平均株価が前日比プラスに転じた局面で一時111.57まで上昇したものの、その後は日経平均株価がマイナス圏に沈んだこと等を背景にじり安推移となり111.28まで下落する荒い展開。その後は取引材料に欠ける中、若干値を戻し111.30台での方向感に欠ける展開が続き、111.35レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.35レベルでオープン。特段のヘッドラインがない中111.24-38円の狭いレンジのもみ合いとなり111.36レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3073レベルでオープン。明日に緊急EUサミットを控え豪ドルは堅調な展開に。メルケル独首相がアイルランド国境バッカストップ案に5年の期限を設けるとの報道で1.3122まで買われるが独側がすぐに否定し売り戻される場面もあった。昼過ぎには保守党と妥協案を探る野党労働党側から、政府は労働党が推す関税同盟については賛同していない旨のコメントが流れると妥協が遠のくとの思惑から1.3054まで下落し1.3057レベルでNYに渡った。(ロンドンリポート 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	NY市場のドル円は111.36レベルでNYオープン。朝方はダウ先物が軟調に推移する中、IMFが世界成長予想を1月時の3.5%から3.3%に下方修正し(米国は2.5%から2.3%へ下方修正)、金融危機以来の低水準になったことから、軟調なダウ先物が一段と下落する動きに、ドル売り円買いが強まり、ドル円は110.98まで下落する。しかし111円割れは長くは続かず、その後は111.10付近での推移が続き、明日のFOMC議事録や、欧州でのイベントを控え、111.16レベルでクローズした。一方、海外市場の1-Dルールは翌日のECB理事会や、緊急EUサミットに加え、イタリアの財政計画も翌日アップデートされる予定になっている中、メルケル独首相がアイルランド国境のバッカストップ案に5年の期限を設定するとの報道(後に否定)を受けポンドが上昇する動き連れ高となり、1.1281まで戻し、1.1276レベルでNYオープン。朝方は、IMFがユーロ圏の成長予想を1月の1.6%から1.3%に下方修正したことが明らかになるものの、ドル売りにユーロドルは1.1284まで上昇する。しかしこのレベルでは売り意欲もあり、1.1269まで反落する。午後は明日のイベントを控え調整中心の値動きが続き、1.1262レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岡本・玉井

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月10日	06:00	伊 小売売上高(前月比)	2月 0.10%	-0.20%

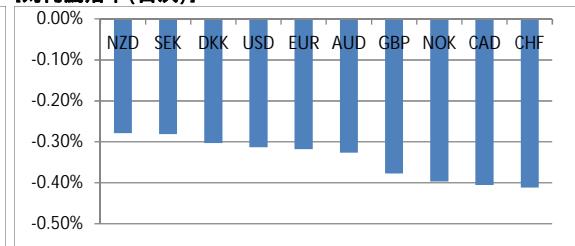
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月10日	12:40	豪 デベル豪中銀副総裁 講演	-	-
	15:15	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/-0.9%	0.6%/-0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/-0.6%	0.8%/-1.1%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	10-Apr 0.0%	0.0%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月 0.4%/1.8%	0.2%/1.5%
	-	欧 臨時EU首脳会議	-	-
	00:50	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-
	03:00	米 FOMC議事要旨(2019年3月19-20日)	20-Mar -	-
	03:00	欧 クーレECB専務理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.80	1.1180-1.1290	124.80-126.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は下落。IMFが世界経済見通しを引き下げ、CHFと共に円が買われる展開となった。本日はECB理事会、FOMC議事録発表、英EU離脱を巡るEU首脳会談が予定されているが、いずれもサプライズはない見通し。*CPIが崩れるようなことがなければ、ドル円も堅調推移しやすいだろう。